

令和7年度 研究・教育支援人材向け
チームマネジメント研修（発展編）
「組織の要となるマネージャーへのステップアップ」
実施要項

1. 目的と概要

本研修は、本学の研究・教育支援部門・専門家チームを纏めるチームマネージャー、今後チームマネージャーとなる方々を対象に、支援を提供する研究者や連携する他部門・他チーム（上下左右の左右）やチーム・部門を統括する上司（上下左右の上）との良好な関係作りを担うマネージャーが「組織の要となるマネージャーへのステップアップ」することを目的に、“組織の上下左右”との良好な関係を作るための基礎概念や取組方法を、座学・グループワーク等を通して学んでいきます。

本研修は、令和4年度から実施してきたチームマネジメント研修（基礎編）「専門家チームに良き影響を与えるチームマネージャーへの第一歩」の続編として企画したものです。

基礎編の企画段階において、専門家チームのマネージャーに求められる役割は“チームのマネジメント”だけでなく、「支援を提供する研究者や連携する他部門・他チームやチーム・部門を統括する上司との良好な関係作り」であることも明確となりました。また、基礎編受講者へのアンケート調査からも、この種の発展編への要望が非常に高いことが分かりました。そこで、コアファシリティ機構・外部人材育成コンサルタント・人材教育会社と共に議論を重ね、「上下左右に良き影響力を与え、組織の要となるマネージャーとして成長する」をコンセプトとして本研修を組み立てました。

現在、専門家チームのリーダーである方だけでなく、次のチームリーダー候補者の方々のご参加をお待ちしております。

2. 対象者

研究・教育支援業務を実施するチームや部門のマネジメントを担当する、あるいは今後担当する予定の本学教職員（常勤及び特任を含む技術職員／常勤及び特任・非常勤を含むURA、教員、研究員など）。

- ・ 事務系職員、技術補佐員、事務補佐員は除きます。
- ・ 基礎編を未受講の方でも受講頂けます。

3. 参加人員

20名程度

（定員を大幅に超える応募があった場合には、事業の趣旨に基づき人数調整させて頂くことがあります）

4. 期間等

令和7年9月30日（火） 9：00～17：00

5. 場 所

豊中キャンパス 豊中共創棟A 2階 実習室（予定）

6. 研修日程

別紙のとおり

7. 費用等

研修費は無料です。ただし、旅費等については参加者の所属する部局等でご負担頂きます。

8. 研修内容

詳細は別紙を参照ください。

講師：株式会社ヒューマンラボ 瓜生 稔 先生

事前課題：「自身が考える職場の問題とその解決策の検討」を作成しご持参ください

1. コアリーダー（※）としての位置づけを理解し、上下左右へのリーダーシップを再確認する。
2. 【基礎編の復習：上下左右の下】 部下が抱える問題の解決を進める問題解決対話の仕方を理解する。
3. 【上司に対して：上下左右の上：フォロワーシップ】 上司とのより良い協働をつくるためのフォロワーシップを学び、事前に考えた職場の問題をもとに、上司のより良い意思決定を促す、提案対話のスキルを磨く。
4. 【ステークホルダーに対して：上下左右の左右：メンバーシップ・パートナーシップ】 研究者や取引先、他チームなど、上下関係にない相手に対し、自身の影響力を与えるメンバーシップとパートナーシップ発揮の状況を整理し、職場において実際に合意できないケースとその理由を考え、合意形成のプロセスと、合意形成に必要なとなる4つのスキルを理解する。
5. 【グループワーク・実習】 実際のケースをもとに、合意形成対話の進め方を学ぶ。

（※）コアリーダー：職場の中核となる位置づけにあり、上下左右に影響を与えながら主体的に仕事をしていくことが期待される職員のこと。

9. 主 催

コアファシリティ機構 研究基盤人材育成部門 (<https://corefc.osaka-u.ac.jp>)

10. 備 考

- （1）研修には「自身が考える職場の問題とその解決策の検討」（所定フォーマットあり）を事前に作成の上、ご参加ください。
- （2）令和4年度から開催しております「基礎編」の続編として、本発展編を企画しました。「基礎編」を受講の上で本「発展編」を受講されることを推奨しますが、「基礎編」を未受講の方でも受講頂けるように研修内容に配慮しています。
- （3）技術系職員には、この種の研修機会が乏しいことから企画・立案しました。また、事務系職員には同様の研修機会が提供されていることから、本研修の対象外としています。
- （4）令和7年度はチームマネジメントに関する3つの研修：「基礎編」（8/29実施済）、「発展編」（本研修）、「実践編」（11/27）を開催する予定です。今回と合わせてご受講をご検討ください。

- (5) 研修終了後、研修内容についてのアンケートを実施しますので、回答にご協力願います。
- (6) 本取組は、本学が採択された文部科学省先端研究基盤共用促進事業（コアファシリティ構築支援プログラム）（事業期間：令和3～7年度）の一環として行っています。詳細は
コアファシリティ機構HP <https://corefc.osaka-u.ac.jp> や
文部科学省 コアファシリティ構築支援プログラム 成果報告書
<https://www.jst.go.jp/shincho/program/corefacility.html#example3>
をご覧ください。